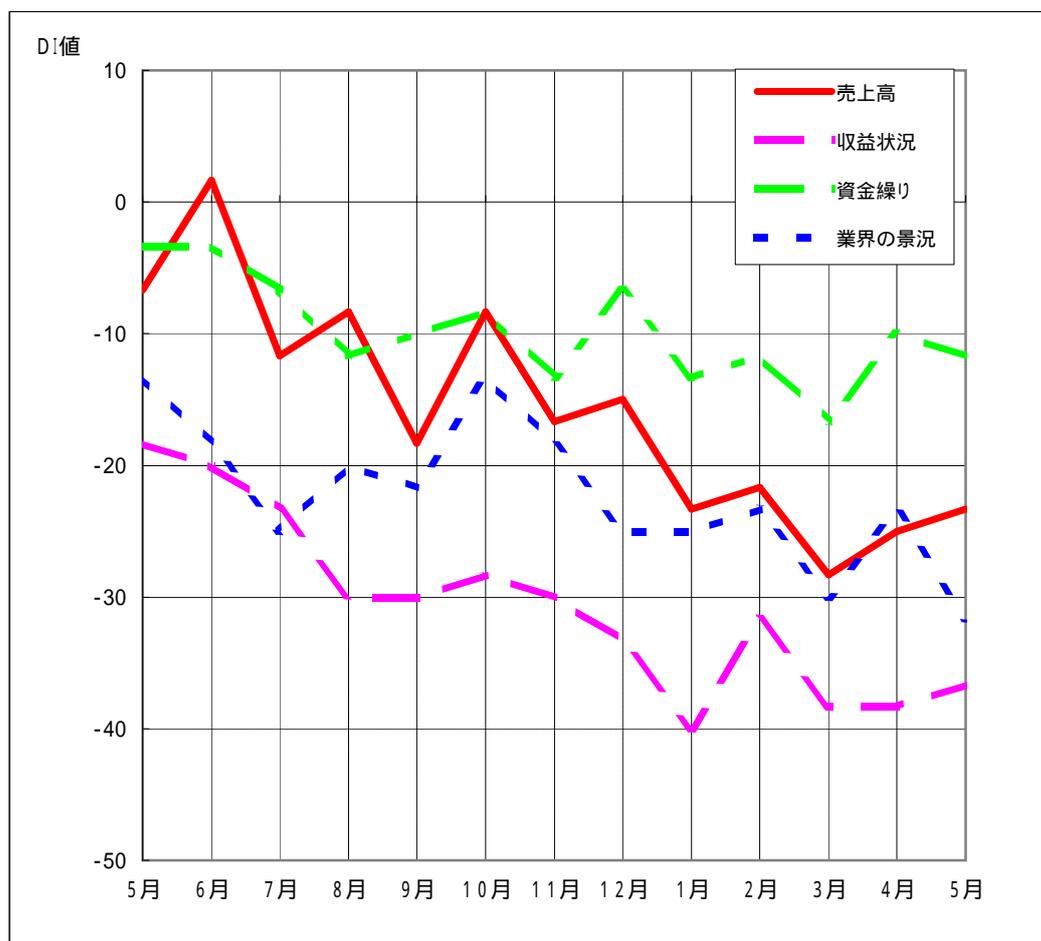


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成18年5月～平成19年5月

単位:ポイント



	H18					H19							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高	-6.7	1.7	-11.7	-8.3	-18.3	-8.3	-16.7	-15.0	-23.3	-21.7	-28.3	-25.0	-23.3
収益状況	-18.3	-20.0	-23.3	-30.0	-30.0	-28.3	-30.0	-33.3	-40.0	-31.7	-38.3	-38.3	-36.7
資金繰り	-3.3	-3.3	-6.7	-11.7	-10.0	-8.3	-13.3	-6.7	-13.3	-11.7	-16.7	-10.0	-11.7
業界の景況	-13.3	-18.3	-25.0	-20.0	-21.7	-13.3	-18.3	-25.0	-25.0	-23.3	-30.0	-23.3	-31.7

5月のDI値をみると、前年同月より上記全項目で悪化した。「売上高」については前年同月より16.6ポイント悪化し、マイナス20%台に推移した。「資金繰り」については、8.4ポイントの悪化でマイナス10%台に推移。「収益状況」・「業界の景況」については、ともに18.4ポイントの悪化でマイナス30%台に推移した。

ここ3ヶ月の景況は、一進一退に推移しているものの、「売上高」・「収益状況」で緩やかながら上昇傾向を辿っている。

組合の特記事項からは、製造業では、「鉄鋼・金属」・「一般機器」の一部で企業間格差はあるものの受注は安定しているとの報告が見られた。しかし依然として原材料価格高騰についての報告が多く、収益性はまだまだ厳しい状況である。

非製造業については、需要減・コスト高・価格競争等に関する報告が多く、「売上高」減・「業界の景況」悪化とする回答が多く見られた。

中小企業の景況は、原材料費高騰を中心に、先行き不透明で厳しい現況となっている。